



平成 27 年 4 月 24 日

各 位

本 社 所 在 地 東京都港区赤坂五丁目 2 番 20 号
会 社 名 株式会社アエリア
代表者の役職名 代表取締役社長 小林 祐介
(コード番号：3758)
問 合 せ 先 取締役 管理本部長 清水 明
電 話 番 号 03-3587-9574
(URL <http://www.aeria.jp/>)

簡易株式交換による株式会社リベル・エンタテインメントの 完全子会社化に関するお知らせ

株式会社アエリア（東京都港区 代表：小林祐介 以下、「当社」）ならびに株式会社リベル・エンタテインメント（東京都千代田区 代表：林田 浩太郎 以下、「リベル」）は、本日開催の両社取締役会において、当社を株式交換完全親会社、リベルを株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」という。）を行うことを決議し、両社間で株式交換契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本株式交換については、当社については、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、当社の株主総会による承認を受けずに、リベルについては、平成 27 年 4 月 24 日開催のリベルの臨時株主総会において本株式交換が承認可決されたため、平成 27 年 6 月 1 日を効力発生日として行われる予定です。

記

1. 本株式交換の目的

当社は、オンラインコンテンツ事業、IT サービス事業を主軸に「Klee（クレイ）～月ノ雫舞う街より～」、「ガンガン！！バトル RUSH！」などの人気タイトルを始めとしたスマートフォン、タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業並びに、超大作 MMORPG 「Dragon's Prophet」などのオンラインゲームの配信・運営事業を行っております。また、一部コンテンツでは既にユーザー様から高い評価を頂いており、経営資源をこの分野へより一層注力しております。

リベルは、ソーシャルゲーム及びコンシューマーゲームの受託開発を行っております。主な開発実績として、株式会社スクウェア・エニックスにて配信中のスマートフォン向けタイトル「乖離性ミリオンアーサー」の開発を手掛けており、このタイトルはサービス開始 2 か月で 900 万ダウンロードを達成する人気タイトルとなっております。

また、リベル代表の林田氏は、昭和 58 年 4 月に株式会社セガ・エンタープライゼス（現株式会社セガゲームス）に入社後、世界的なヒット作である「ソニック・ザ・ヘッジホッグ」の企画及びゲームデザイン担当として活躍し、同社タイトルであります「アレックスキッ

ド」、「ファンタシースター」、「シャイニングフォース」においても開発経験がございます。

さらに、本年4月20日に公式サイトをオープンしました、同社初の自社タイトルである恋愛リズムアドベンチャーの「アイ★チュウ」(Android/iOS)につきましては、サイトオープン2日目で公式Twitterのフォロワー数が5,000名を突破するなど、5月中旬開始予定の事前登録に向けて順調に推移しております。なお、「アイ★チュウ」の配信サービスは、6月を予定しております。

オンラインコンテンツ関連市場におきましては、PCオンラインゲームに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴う利用者数の拡大を背景に、Android/iOSをはじめとするプラットフォームの多様化が進み、引き続き成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。

このような市場環境に対応するには、ユーザーの満足度をより高めたコンテンツ作りが求められ、PCオンラインゲームで運営ノウハウ及び開発力を培ってきた当社と、コンシューマーゲーム及びスマートフォン向けゲームでの開発実績をもつリベルとが、コンテンツ共同開発並びにコンテンツの効率的な運営をすることにより、当社のオンラインコンテンツ事業の基盤強化に大きく貢献することが期待できます。又、リベルにとっても両社の経営資源を集中することにより資金面での制約が緩和され、両社の更なる発展につながると判断いたしました。それぞれの得意分野を生かしながら両社の事業を共に拡大発展させるための連携に向けた協議を重ねて参りましたところ、リベルが当社のグループに加わり、シナジー効果を発揮することが最善の策であると合意に至り、本株式交換による完全子会社化を行うことになりました。

今後、当社及びリベルは企画、開発、運営における資源の相互活用により、両社の強みを生かした新しいゲームの制作、成長が見込まれる海外市場や新しいゲームプラットフォームを見据えた事業展開を行うことで、さらなる成長の実現を目指しております。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

取締役会決議日（当社）	平成 27 年 4 月 24 日
臨時株主総会にて株式交換承認（リベル）	平成 27 年 4 月 24 日
株式交換契約締結日	平成 27 年 4 月 24 日
本株式交換の予定日（効力発生日）	平成 27 年 6 月 1 日（予定）

注1) 当社は、会社法第796条3項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続により本株式交換を行う予定です。

注2) 上記日程は、本株式交換に係る手続き進行上の必要性その他の事由によって必要となる場合には、両社の合意により変更されることがあります。

(2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、リベルを株式交換完全子会社とする株式交換となります。本株式交換は、当社については、会社法第 796 条 3 項の規定に基づく簡易株式交換の手続により、当社の株主総会の承認を受けずに、リベルについては、平成 27 年 4 月 24 日開催の臨時株主総会において本株式交換契約が承認可決されたため、平成 27 年 6 月 1 日を効力発生日として行われる予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	株式会社アエリア (完全親会社)	株式会社リベル・エンタ テインメント (完全子会社)
株式交換比率	1	4,161

注 1) 株式の割当比率

リベルの普通株式 1 株に対して、当社の株式 4,161 株を割当て交付いたします。

注 2) 本株式交換により発行する当社の新株式数：普通株式 249,660 株

注 3) 単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、当社の単元未満株式（100 株未満株式）を保有することになるリベルの株主様につきましては、以下の制度をご利用いただくことができます。なお、金融商品取引所市場において単元未満株式を売却することはできません。

①単元未満株式の買取制度（100 株未満株式の売却）

会社法第 192 条第 1 項の規定に基づき、当社に対しその保有する単元未満株式の買取りを請求することができる制度です。

②単元未満株式の買増制度（100 株への買増し）

会社法第 194 条第 1 項及び当社の定款の規定に基づき、当社の単元未満株式を保有する株主様が、当社に対して、その保有する単元未満株式の数と併せて 1 単元（100 株）となる数の普通株式を売り渡すことを請求し、これを当社から買い増すことができる制度です。

注 4) 1 株に満たない端数の取扱い

本株式交換に伴い、1 株に満たない端数が生じた場合には、会社法 234 条の規定により、その端数の合計数（その合計数に 1 に満たない端数がある場合は切り捨てるものとします。）に相当する当社の株式を売却し、その端数に応じてその代金を当該株主に交付します。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

リベルは、新株予約権及び新株予約権付社債をいずれも発行していません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社及びリベルは、独立した第三者算定機関である東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社（以下「T F A」）から当社が提出を受けた株式交換比率の算定結果、ならびに両社の財務の状況、資産の状況、財務予測等の将来見通しを踏まえて、両社で慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記株式交換比率が、T F Aが算定した株式交換比率の算定結果レンジ内のため妥当であり、それぞれの株主の利益に資するものであるとの判断に至り合意しました。なお、この株式交換比率は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、両社間の協議により変更することがあります。

(2) 算定に関する事項

①算定機関の名称並びに上場会社及び相手会社との関係

本株式交換の株式交換比率につきましては、その公平性・妥当性を確保するため、当社は、当社並びにリベルから独立した第三者算定機関であるT F Aに依頼をし、平成 27 年 4 月 23 日付で、株式交換比率に関する算定書を取得しました。

なお、T F Aは当社及びリベルの関連当事者には該当せず、当社及びリベルとの間で重要な利害関係を有しません。

②算定の概要

T F Aは、上場会社である当社株式については、東京証券取引所ジャスダック市場に上場し、市場株価が存在することから市場株価法（算定基準日を平成 27 年 4 月 23 日とし、算定基準日の終値及び算定基準日から遡る 1 ヶ月、3 か月、6 か月の各期間の株価終値単純平均）を採用いたしました。株価については、近時の値であるほうが、最近のトレンドを反映しやすいという利点がある一方で、期間が短期であると、一時的な要因による価格変動の影響を受けるといった問題があり、いずれの期間がベストであるとも判断できないため、これらの値の最小値～最大値を市場株価法による算定結果としております。

採用手法	算定結果（円）
市場株価法	1,430.00 ～ 1,822.33

一方、リベルの株式については、非上場会社であるため市場株価が存在せず、将来清算する予定はない継続企業であるため、D C F（ディスカウント・キャッシュ・フロー）法による算定を採用いたしました。リベルが作成した平成 27 年 8 月期～平成 29 年 8 月期の財務予測に基づく将来キャッシュフローを、一定の割引率で現在価値に割り引くことによって企業価値を評価し算定しております。なお、算定の前提とした財務予測

には、平成 27 年 8 月期には営業損失 82 百万円、平成 28 年 8 月期には営業利益 63 百万円と大幅な増減益となる事業年度が含まれております。平成 27 年 8 月期についてはスマートフォン向け自社タイトルへの積極的な先行投資により営業損失を予測しておりますが、平成 28 年 8 月期は自社新作タイトルの販売による売上の増加及び利益率の向上等が含まれていることによります。また、当該財務予測は、本株式交換の実施を前提としておりません。

採用手法	算定結果 (円)
D C F 法	5,663,140 ~ 6,921,615

上記方式において算定されたリベルの普通株式 1 株当たりの株式価値を 1 とした場合の算定結果は、以下のとおりです。

採用手法		株式交換比率の算定結果
当社	リベル	
市場株価法	D C F 法	3,107.63 ~ 4,840.29

T F A は、株式交換比率の分析に際して、両社から提供を受けた情報および一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性および完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産、各負債の分析および評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておりません。加えて、両社の財務予測については両社の経営陣による現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。T F A の株式交換比率の分析は、平成 27 年 4 月 23 日現在までの上記情報等と経済条件を前提としたものであります。

(3) 上場廃止となる見込み及びその事由

当社が上場廃止となる見込みはありません。

4. 本株式交換当事会社の概要

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社
(1) 商号	株式会社アエリア	株式会社リベル・エンタテインメント
(2) 事業内容	オンラインコンテンツ事業 IT サービス事業	ソーシャルゲームの開発・運営 コンシューマーゲームの開発

		ゲーム事業に関するコンサルティング業務
(3) 設立年月日	平成 14 年 10 月 30 日	平成 18 年 9 月 26 日
(4) 本店所在地	東京都港区赤坂五丁目 2 番 20 号	東京都千代田区内神田三丁目 5 番 3 号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小林 祐介	代表取締役 林田 浩太郎
(6) 資本金の額 (平成 26 年 12 月 31 日現在)	236,772 千円	3,000 千円
(7) 発行済株式数 (平成 26 年 12 月 31 日現在)	5,299,200 株	60 株
(8) 事業年度の末日	12 月 31 日	8 月 31 日
(9) 従業員 (平成 26 年 12 月 31 日現在)	95 名 (連結)	20 名 (単体)
(10) 主要取引先	—	—
(11) 大株主及び持株比率 (平成 26 年 12 月 31 日現在)	長嶋 貴之 28.66% 小林 祐介 21.56%	林田 浩太郎 70.00% 牟田 正 30.00%
(12) 主要取引銀行	みずほ銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行	三井住友銀行 商工組合中央金庫 興産信用金庫
(13) 当事会社間の関係等	資本関係：該当事項はありません。 人的関係：該当事項はありません。 取引関係：該当事項はありません。 関連当事者への該当状況：該当事項はありません。	

(14) 最近 3 年間の業績

決算期	株式会社アエリア (連結)			株式会社リベル・エンタテインメント (単体)		
	平成 24 年 12 月期	平成 25 年 12 月期	平成 26 年 12 月期	平成 24 年 8 月期	平成 25 年 8 月期	平成 26 年 8 月期
純資産 (千円)	4,676,259	3,657,419	3,717,842	△20,790	△23,991	4,529
総資産 (千円)	4,973,639	4,061,262	4,148,461	7,810	16,040	55,031
1 株当たり 純資産(円)	920.00	728.00	680.94	△346,496.37	△399,844.77	75,481.45
売上高 (千円)	6,160,962	848,356	1,141,613	67,178	105,189	195,974

営業利益 (千円)	△835,510	△686,086	△861,405	2,953	△2,489	29,814
経常利益 (千円)	△926,131	△1,362,686	△165,907	2,397	△3,131	29,196
当期純利益 (千円)	480,895	△1,101,636	△321,938	2,327	△3,201	28,520
1株当たり 当期純利益 (円)	94.16	△225.33	△64.14	38,779.35	△53,348.40	475,326.22
1株当たり 配当金(円)	2,200	10	10	—	—	—

(注) アエリアは、平成25年7月1日付で1株を100株に株式分割しております。

5. 本株式交換後の状況

本株式交換後の当社の商号、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金の額および決算期について、上記「4. 本株式交換当事会社の概要」に記載の内容から変更ありません。

6. 会計処理の概要

本株式交換にともなう会計処理ならびにのれんの金額等に関しては、現時点では未定であり、確定次第速やかにお知らせいたします。

7. 今後の見通し

本株式交換により、当社の当期以降の連結業績に与える影響等につきましては、現時点では確定しておりません。今後、開示すべき影響等が判明した場合は速やかにお知らせいたします。

(参考) 当期連結業績予想及び前期連結実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 (平成26年12月期)	1,141	△861	△165	△312

当期業績予想(平成27年12月期)につきましては、現時点で合理的な算定が困難であるため、未定とし開示しておりません。

以上